

# ブラキムラとめぐる！ 仙台城下町ボヤージュ

## 2021年1月5日放送分

### 【清水小路／田町 姉齒横丁／土樋】

毎月第1火曜日に放送しています。歴史家で街歩きの達人・ブラキムラこと木村浩二さんと、旧城下町に88本ある石柱＝辻標から歴史の痕跡を探る旅です。街歩きのお供には、仙台市役所1階の市政情報センターなどで販売中の冊子、その名もズバリ「辻標」が便利です。88本ある辻標の場所や周辺の歴史が、写真とともに分かりやすく解説されています。放送とあわせてお楽しみください！

- 青葉区五橋の仙台市福祉プラザ南隣、ショーケー本館ビル敷地内に「清水小路／田町」の辻標があります。木村さんによれば、開府当初の仙台の城下町南端はこの辺りだったそうです。
- 「清水小路」という優雅な名前が付いてはいますが、当時は五橋の低地にたまった水を広瀬川の方に堀で落とす、悪水吐きのための水路でもあったそうです。交錯した堀を渡るための橋が5本あったので、五橋というわけですね。今も交差点に立つと、微妙な高低差を感じることができます。木村浩二さん、大いに「段差萌え」しておりました！
- 荒町商店街に入り、荒町小学校と市民センターを過ぎてすぐの角を右に下ります。ここは昔、姉齒何某というお侍が住んでいた横丁だそうで、荒町小学校の南側にあたります。
- 実は小学校のグラウンドから下に「孫兵衛堀」という堀が流れていたことが絵図から分かっています(道幅が突然広くなるという痕跡もあります！)。北上川の開削に尽力した川村孫兵衛重吉は、治水の名人として仙台の街づくりにも深くかかわったのでした。姉齒小路を抜け、昭和市電通りに出たところで「姉齒小路／土樋」の辻標を確認して、今回の街歩きは終了です。
- 〈文・佐々木淳吾〉